

④大雨時の情報収集と避難行動

4-1. 情報の収集方法

防災行政用無線

屋外の放送用スピーカーより、防災情報などを放送します。
避難情報は、サイレンを鳴らし、最大音量で放送します。

防災行政用無線の放送内容を以下で確認できます

- ① 電話番号サービス：放送内容を電話確認
☎ 055 (298) 4471
- ② NNS(テレビの11ch)のデータ放送
- ③ 甲府市防災防犯メールマガジン
- ④ 甲府市防災アプリ
- ⑤ 甲府市防災ポータル

メール

甲府市防災防犯メールマガジン

防災行政用無線の内容や避難情報などがメールで配信されます。

メールアドレスを登録していただくことでメールでの情報発信を受け取ることができます。
下記サイトの二次元コードを読み取ると登録サイトにアクセスできます。

登録ツール情報

登録サイト
(PC/スマートフォン)

<https://plus.sugumail.com/usr/yc-kofu/home>



緊急速報メール

市内にいる方々の携帯電話に緊急情報を一斉配信します。
お持ちの携帯電話が緊急速報メールを受信できるのかについて、
取扱説明書又は販売店などに確認してください。

機種によって、事前に受信設定が必要な場合があります。

テレビのデータ放送

避難情報や避難所開設情報をはじめ、各種防災情報が確認できます。

【NNS(11ch)の場合】

- ① リモコンの「d ボタン」を押す
- ② 「県・甲府市からのお知らせ」を選択し、「決定ボタン」を押す
- ※ 「河川水位・土砂災害警戒情報」を選択すると、国や県が配信する河川や土砂災害に関する情報も確認できます
- ③ 「緊急災害情報」や「甲府市防災防犯メールマガジン」などを選択し、「決定ボタン」を押す

【NHKの場合】

- ① リモコンの「d ボタン」を押す
- ② 「防災・生活情報」を選択し、「決定ボタン」を押す
- ③ 避難情報や避難所開設情報、河川水位・雨量情報を選択し、「決定ボタン」を押す

リモコンの「d ボタン」(データ放送)を押すと、
テレビ画面で情報を確認できます。



インターネット

甲府市防災アプリ

お持ちのスマートフォンやタブレット端末を活用した無料の防災アプリです。気象情報や避難情報などの各種防災情報の取得や、最寄りの避難所検索やマイ・タイムラインの作成など、災害時・非常時共に役立つ機能があります。

登録方法

Google PlayまたはApp Storeからダウンロードしてご利用できます

■■■■ご注意ください■■■■
インストール・利用料は無料ですが、通信料は利用者負担となります



甲府市防災ポータル

甲府市が発表する避難情報や避難所開設情報など、
防災に関する情報がリアルタイムに掲載されます。

<https://kofu-city.my.salesforce-sites.com/>



甲府市ホームページ

防災・防犯情報をホームページに掲載しています。
緊急時にはトップページに掲載し、随時、災害情報を提供します。

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/>



川の防災情報

山梨県管理河川のほか、全国の河川の水位や雨量、
河川ライブカメラなど最新の川の情報が確認できます。

<https://www.river.go.jp/index>



土砂災害警戒情報システム(山梨県)

土砂災害の危険度が、気象台から提供された予測情報
に基づき、約1 km四方の領域(メッシュ)で確認できます。

<https://sabo.pref.yamanashi.jp/Top>



総合河川情報システム(山梨県)

県内の雨量・水位情報がリアルタイムで確認できます。

<http://www3.pref.yamanashi.jp/yamanashiweb/>



キキクル(危険度分布)

気象庁では、大雨による災害の危険度の高まりを5段階
の色分けで地図上に表示する「キキクル(危険度分
布)」を公表しています。詳しくは気象庁のホームページ
をご確認ください。

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>



停電情報(東京電力パワーグリッド(株))

停電情報を確認できます。

<https://teideninfo.tepco.co.jp/index-j.html>



4-2. 大雨時の情報と行動の目安

市町村が発令する避難情報は、市町村が総合的に判断して 発令するものであることから、警戒レベル相当情報が出されたとしても発令されないことがあります。

警戒レベル		警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 4 までに危険な場所から必ず避難！	警戒レベル 5
避難情報				高齢者等避難	避難指示		緊急安全確保
市民の皆さんの とるべき行動		災害への 心構えを高める ●最新の気象情報などを入手する。 ●指定避難所の位置を確認する。	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、 避難のタイミングなど) ●避難に備え、ハザード マップなどで自らの避難 行動を確認する。	避難に時間を要する人は 早めに避難、避難の準備 ●近所に声をかけ、複数で 避難する！	危険な場所から全員避難 ●速やかに避難先へ避難する！ ●全員立退き避難		命の危険 直ちに安全確保！ ●命が危険な状況です。建物の2階 以上の高いところで山側から遠い 部屋などへ直ちに安全確保してく ださい。
防災気象情報 (警戒レ ベル相当)	大雨 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	早期注意情報	レベル2 大雨注意報	レベル3 大雨警報	レベル4 大雨危険警報		レベル5 大雨特別警報
	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫		レベル2 氾濫注意報	レベル3 氾濫警報	レベル4 氾濫危険警報		レベル5 氾濫特別警報
	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや土石流		レベル2 土砂災害注意報	レベル3 土砂災害警報	レベル4 土砂災害危険警報		レベル5 土砂災害特別警報
	キキクル (危険度分布)	今後の情報等に 留意	注意	警戒	危険		災害切迫

(参考)
雨の強さと降り方
(1時間雨量)

やや強い雨
10～20mm未満

強い雨
20～30mm未満

激しい雨
30～50mm未満

非常に激しい雨
50～80mm未満

猛烈な雨
80mm以上

記録的短時間大雨情報
100mm以上

内水ハザードマップを確認

洪水ハザードマップを確認

この表はあくまでも目安です。雨の降り方などの状況によっては、表のような順番で情報が出るとは限りません。

各種情報を積極的に収集し、自らの判断で避難をしましょう。

気象庁では、災害に結びつくような激しい気象現象が予想される場合、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて警報・注意報などの防災気象情報を発表しています。また、警報等を補足する情報として「気象防災速報」及び「気象解説情報」を発表します。

気象防災速報

短時間での降雨など、災害発生の危険度が高まるような極端な気象現象を、速報的に伝える情報です。この情報が出たら、キキクル（危険度分布）や市の避難情報を確認し、危険な場所にいる場合は早めに身の安全を確保してください。

- 気象防災速報（線状降水帯発生）
- 気象防災速報（記録的短時間大雨）

気象解説情報

現在の気象情報や今後の見込み、災害発生危険度の見通しなどを総合的に解説する情報です。災害への備えや、今後どのように行動するかを考える際の参考としてください。

- 気象解説情報（台風第〇号）
- 気象解説情報（線状降水帯半日前予測）
- 気象解説情報（大雨）

キキクル（危険度分布）

大雨による土砂災害、浸水害、洪水の危険度をキキクルのホームページで色分けして掲載しており、紫色は危険度が高い箇所を示しています。

【令和元年東日本台風（台風第19号）の甲府市周辺】

大雨警報（土砂災害）の危険度分布

大雨警報（浸水害）の危険度分布

洪水警報の危険度分布

色が付いている箇所はこんなところに注意

土砂災害（特別）警戒区域
がけ・溪流付近

周囲より低い場所

洪水浸水想定区域
河川沿い

4-3. 避難行動判断フロー

ハザードマップで自宅などを確認し、下の図から大雨時にとるべき行動の目安を確認しておきましょう。また、災害は複数の災害が同時に起こる可能性があるため、洪水ハザードマップ等についても併せて確認し、自分がとるべき行動の目安を知り、身の危険を感じたら、自分の判断で命を守る行動をとりましょう。

洪水ハザードマップはこちら➡



とるべき行動
(凡例)

立退き避難

河川などが氾濫する前に、早めに自宅以外の安全な場所へ事前避難を。

垂直避難

状況に応じて、建物の高層階に垂直避難を。

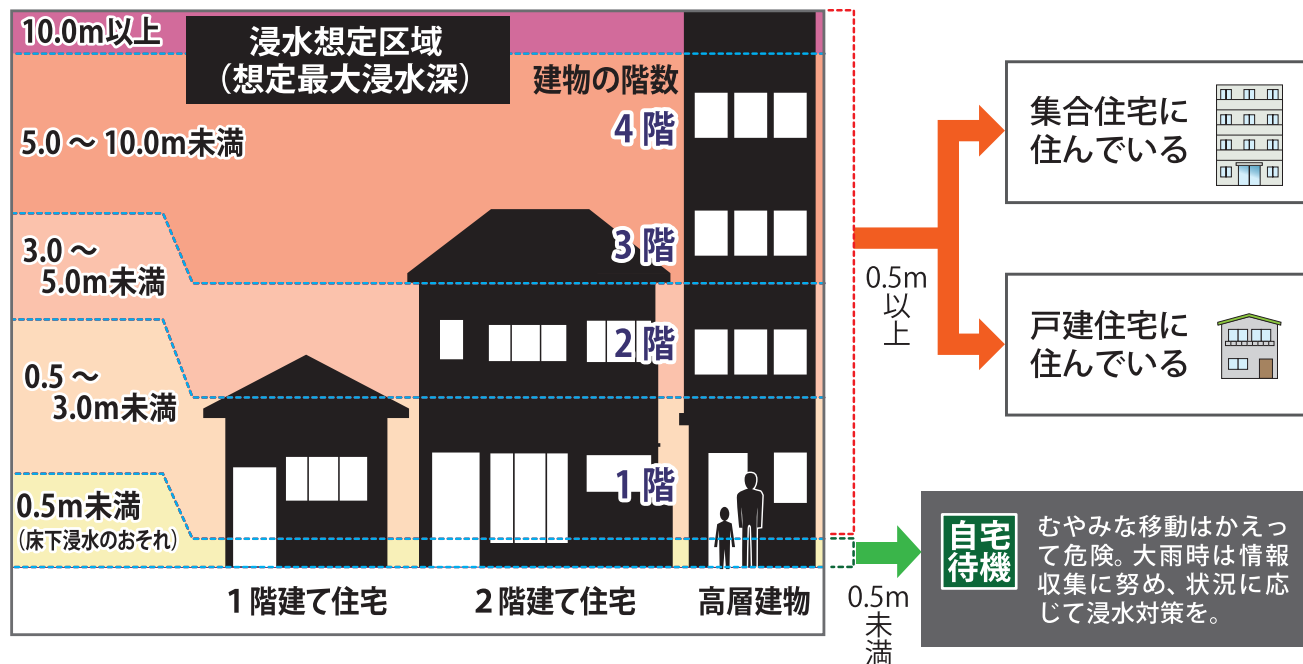
自宅待機

むやみな移動はかえって危険。大雨時は情報収集に努め、状況に応じて浸水対策を。

Step ①

P7～19の地図や洪水ハザードマップ等で自宅の位置を把握し、「浸水想定区域」を確認しましょう。

自宅の位置は、「浸水の深さ」を示した色が付いている範囲にありますか？



Step ②

戸建住宅でのとるべき行動の目安を知りましょう。

戸建住宅



お住まいの戸建住宅の階数と、地図上での着色(浸水の深さ)を確認し、とるべき行動の目安を知りましょう。

階数	想定される浸水の深さ		
	0.5～3.0m未満 (1階部分が水没するおそれ)	3.0～5.0m未満 (2階部分まで水没するおそれ)	5.0m以上 (3階部分まで水没するおそれ)
3階建て	立退き避難	立退き避難	立退き避難
2階建て	立退き避難	立退き避難	立退き避難
1階建て	立退き避難	立退き避難	立退き避難

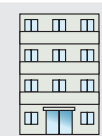
避難を考える上での留意事項

- ① ハザードマップでは、最悪の事態を想定しています。災害が起こることを前提に避難を考えてください。
- ② ここで示すのは、大雨時にとるべき行動の目安であり、絶対的なものではありません。身の危険を感じたら、命を守る行動をとってください。
- ③ 被害想定がない区域においても、絶対安全というわけではありません。もしもの場合を考えて行動してください。
- ④ 基本的には『立退き避難』を推奨しますが、『垂直避難』が可能な方については『垂直避難』もご検討ください。

Step ②

集合住宅でのとるべき行動の目安を知りましょう。

集合住宅



お住まいの集合住宅の階数と居住階、地図上での着色(浸水の深さ)を確認し、とるべき行動の目安を知りましょう。

※集合住宅の場合、いざというときには、共用部分の廊下などへ垂直避難することができます。あらかじめ話し合っておきましょう。

階数	居住階	想定される浸水の深さ		
		0.5～3.0m未満 (1階部分が水没するおそれ)	3.0～5.0m未満 (2階部分まで水没するおそれ)	5.0m以上 (3階部分まで水没するおそれ)
5階建て以上	5階以上	自宅待機	自宅待機	自宅待機
	3・4階	自宅待機	自宅待機	立退き避難
	2階	自宅待機	立退き避難	立退き避難
	1階	立退き避難	立退き避難	立退き避難
3～4階建て	3・4階	自宅待機	自宅待機	立退き避難
	2階	自宅待機	立退き避難	立退き避難
	1階	立退き避難	立退き避難	立退き避難
2階建て	2階	自宅待機	立退き避難	立退き避難
	1階	立退き避難	立退き避難	立退き避難
1階建て	1階	立退き避難	立退き避難	立退き避難

Step ③

洪水、土砂災害からの避難を考えましょう。

危険な場所は、内水浸水想定区域だけではなく、ほかのハザードマップも必ず確認しましょう。

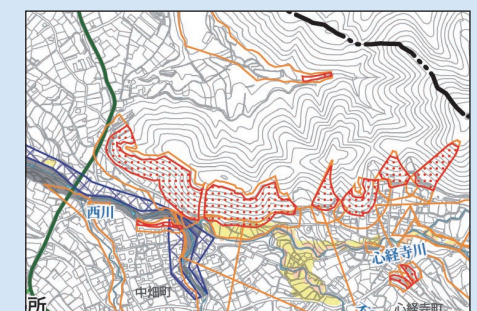
洪水



「家屋流失のおそれがある区域」や浸水深が居室より深い場合、避難が必要です。

立退き避難

土砂災害



自宅が「土砂災害(特別)警戒区域」内にある場合、避難が必要です。

立退き避難

4-4. マイ・タイムライン

わたしの避難行動計画（マイ・タイムライン）

警戒レベル		1	2	3	4	5
避難情報	市民に行動を促す情報 ※警戒レベル3から市が発令します	テレビ、ラジオ、インターネット、スマートフォンなどで気象情報などを確認し、避難に備えましょう。		高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
気象情報・水位情報など	大雨	早期注意情報	レベル2 大雨注意報	レベル3 大雨警報	レベル4 大雨危険警報	レベル5 大雨特別警報
	河川氾濫		レベル2 氾濫注意報	レベル3 氾濫警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル5 氾濫特別警報
	土砂災害		レベル2 土砂災害注意報	レベル3 土砂災害警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル5 土砂災害特別警報
	河川水位情報		氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	氾濫の発生
	(暴風)	早期注意情報	強風注意報	暴風警報		暴風特別警報
必要な行動		- 気象情報、避難情報を確認する - 避難経路の確認、非常持ち出し品の確認などの避難準備		高齢者などの避難に時間がかかる方は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	命の危険 直ちに安全確保！

わたしの避難先

避難の方法

避難先までかかる時間

わたしの行動

避難の準備

非常持ち出し品・備蓄品の確認

レベル4
全員避難！

※マイ・タイムラインは、あくまで行動の目安です。避難情報や気象情報をこまめに確認し、状況に合わせて臨機応変に行動してください。